

カトリック葛西教会 Kasai Catholic Church

年間第 12 主日 12th Sunday in ordinary time

日々、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい (ルカ 9・23)

“Take up his cross every day and follow me.”(Lk9・23)

〒134-0083 江戸川区中葛西 1-10-15

1-10-15 Naka-Kasai, Edogawa-ku, Tokyo

Tel. 03-3689-0014 Fax. 03-5696-4449

<http://kasaicc.net/>

主日のミサ

土曜日 Sat. 7:00pm (日本語)

日曜日 Sun.10:00am (日本語) & 4:00pm (English)

**結婚式のお知らせ**

明日 20 日午前 10 時より約 4 年ぶりに葛西教会の信者同志の結婚式が行われます。お二人の末永い幸せの為に祈りください。

新郎：トマス 大森 真人様

新婦：アンジャンネス・マグパリ様

Wedding Mass

Mr. Masahito Omori & Ms. Anjanneth Magpali will tie the knot at a nuptial Mass on Monday, June 20 at 10AM. Wishing joy & happiness for the new couple.

地区集会のお知らせ

6 月 26 日(日)ミサ後

松江・船堀地区

南葛西・清新町地区

北・西葛西地区

7 月 3 日(日)ミサ後

市川・行徳地区

浦安地区

Kasai Church 50th Anniv. Preparation Committee

Contribution for church's 50th Anniversary totals **10,151,817** yen. Thank you for your understanding and continued support and prayer.

Catechism for Graders & Parents

Every Sunday from 3:00pm, Catechism for elementary graders is taught, Interested applicants, please register to Fr. Jess

壮年部巡礼の報告

昨日、壮年部では西千葉教会に巡礼に行ってみました。ジェス神父様と 9 名が参加され慈しみと恵みに満ちたひと時を過ごすことができました。(壮年部)

ウルスラ修道会でのミサ

これからの予定は、7 月 2 1 日(木)です。おいしいランチと祈りのひと時をご一緒に。皆様ご参加下さい。

聖書勉強会

聖書勉強会を毎月第 4 日曜日のミサ後 11:30 より小聖堂で行います。たくさんの方の参加をお持ちしています。(宣教部:シスター植木)

50 周年ロザリオの祈りの報告(2016 年分)

5 月は 9 名 143 環です。累計で 48 名 749 環です。今年は 3,000 環が目標です。よろしくお願ひ致します。(50 周年委員会)

献堂 50 周年記念事業第 4 期献金報告

2016 年第 4 期中間報告 (5 月末現在)

申込者数：102 名 (目標：200 名)

献金合計：1,945,554 円(目標：3,000,000 円) 1 期

からの合計は 10,151,817 円です。

今後とも皆様のご協力を宜しくお願ひ致します。ご質問などありましたら本橋俊和・佐藤隆一にお聞きください。

共同祈願の祈り

キリストに従う人は
救いの喜びで満たされる

その他今後の予定

06月19日(日) 年間第12主日

06月20日(月) 結婚式(トマス大森真人さん・アンジャネス マグパリさん)

06月26日(日) 年間第13主日

07月03日(日) 年間第14主日

07月03日(日) 年間第14主日

今週の掃除は6月25日(土)

浦安地区です。皆様ご参加ください。

This Week's Church Cleaning Duty

June 25th Saturday

Urayasu Group

掃除当番の方々へ：トマスホールの椅子は、体の不自由な方が通れるように聖堂との境からタイル2枚分(約60cm)あけて並べて下さい。

献堂50周年記念事業準備

葛西教会は2019年に松江教会から数えて50年を迎えます。老朽化した建物の内装・配管・照明・音響などさまざまな課題を踏まえ、心を一つにして準備作業を行いたいと思います。ご協力をお願い致します。



『年間第12主日』C年

今日の福音 ルカによる福音(9:18-24)

イエスがひとりで祈っておられたとき、弟子たちは共にいた。そこでイエスは、「群衆は、わたしのことを何者だと言っているか」とお尋ねになった。弟子たちは答えた。「『洗礼者ヨハネだ』と言っています。ほかに、『エリヤだ』と言う人も、『だれか昔の預言者が生き返ったのだ』と言う人もいます。」イエスが言われた。「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」ペトロが答えた。「神からのメシアです。」

イエスは弟子たちを戒め、このことをだれにも話さないように命じて、次のように言われた。「人の子は必ず多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちから排斥されて殺され、三日目に復活することになっている。」それから、イエスは皆に言われた。「わたしについて来たい者は、自分を捨て、日々、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。自分の命を救いたいと思う者は、それを失うが、わたしのために命を失う者は、それを救うのである。」

聖書新共同訳より引用

A Reading from the Holy Gospel according to Luke (9 : 18-24)

Who is Jesus for you and me?

One day when Jesus was praying alone in the presence of his disciples he put this question to them, "Who do the crowds say I am?" And they answered, "John the Baptist; others Elijah; and others say one of the ancient prophets come back to life." "But you," he said "Who do you say I am?" It was Peter who spoke up. "The Christ of God" he said. But he gave them strict orders not to tell anyone anything about this.

"The Son of Man" he said "is destined to suffer grievously, to be rejected by the elders and chief priests and scribes and to be put to death, and to be raised up on the third day."

Then to all he said, "If anyone wants to be a follower of mine, let him renounce himself and take up his cross every day and follow me. For anyone who wants to save his life will lose it; but anyone who loses his life for my sake, that man will save it."

This is the Gospel of the Lord

いつくしみの特別聖年のための祈り

主イエス・キリスト、

あなたは、わたしたちが天の御父のようにいつくしみ深い者となるよう教え、

あなたを見る者は御父を見る、と仰せになりました。

み顔を示してくださいればわたしたちは救われます。あなたの愛に満ちたまなごしによって、

ザアカイとマタイは富への執着から解放され、姦通の女とマグダラのマリアは、

この世のものだけに幸せを求めることから解放されました。

ペトロはあなたを裏切った後に涙を流し、悔い改めた盗人^{ぬすびと}には樂園が約束されました。

あなたはサマリアの女に、「もしあなたが神のたまものを知っていたなら」と語られました。

このことばを、わたしたち一人ひとりに向けられたことばとして聞かせてください。

あなたは、目に見えない御父の、目に見えるみ顔です。

何よりもゆるしといつくしみによって、自らの力を示される神のみ顔です。

教会がこの世において、復活し栄光に満ちておられる主のみ顔となりますように。

あなたは、ご自分に仕える者が弱さを身にまとい、無知と過ちの闇の中を歩む人々を、

心から思いやることができるようお望みになりました。

これら仕える者に出会うすべての人が、神から必要とされ、愛され、ゆるされていると感ずることができるよう

に。あなたの霊を送り、わたしたち一人ひとりに油を注ぎ、聖なるものとしてください。神のいつくしみの聖なる年が、主の恵みに満ちた一年となり、

あなたの教会が新たな熱意をもって、貧しい人により知らせをもたらし、捕らわれ、抑圧されている人に解放を、目が見えない人に視力の回復を告げることができるよう。

この祈りを、いつくしみの母であるマリアの取り次ぎによって、

御父と聖霊とともに世々に生き、治めておられるあなたにおささげいたします。

アーメン。

いつくしみの特別聖年をすごすために

免償（注1）をいただく為に例えば次のような清めと償いの行いが勧められています。

- 1) 指定された聖堂を訪問（注2）して所定のお祈りをし（教皇による特別聖年の祈り）、信仰宣言を唱える。
- 2) 司祭からゆるしの秘跡を受けまた聖体拝領する。
- 3) 聖書を通して神の慈しみを深く黙想する。
- 4) 神のいつくしみになつた行いを実行する。

注1：「免償」とは教会が定めた条件のもとに償いの効果をもたらす罰を免除することです。

注2：指定聖堂は東京カテドラル聖マリア聖堂、築地教会、神田教会、麹町教会、八王子教会、西千葉教会。（東京教区の歴史を振り返っていただきたいという思いからです）